

# 令和3年度 いじめ防止標語コンクール 入賞作品の紹介

いつだって  
いじわるしたら だめですよ

巻堀小学校一年 高橋 咲輝

ともだちと

いつもなかよく いじめだめ

河北小学校二年 松岡 優

いじめだめ 心にひびが はいるから

河北小学校三年 八重樫 春仁

いいのそれ

あいてのたちばに なってごらん

山岸小学校四年 松田 翔馬

いじめなし

えがおの花が さきはこる

山岸小学校五年 栗谷川 堯士

つらい時

近くにいろよ 私達

桜城小学校六年 齋藤 陽夏乃

個性とは

認め合うから 光るもの

見前中学校三年 中村 愛花

相手の声

画面越しには 分からない

飯岡中学校三年 板澤 柁希

いじめない ルールまもうが がんばろう

北松園小学校一年 高橋 結平

考えて じ分がされたら どうですか

北厨小学校二年 福士 奏多

どうしたの 一声かけて 思いやり

山王小学校三年 瀬川 幸愛

悪口は 一生消えない きずの元

津志田小学四年 上路 琉生

気づくこと それはだれかの命を守ること

津志田小学校五年 吉田 詩織

もってほしい やさしい気持ち 思いやり

津志田小学校六年 吉田 真帆

憂さ晴らし あなたの心は 満たされない

見前中学校二年 高橋 連

「大丈夫？」 その一言が 救いの手

仙北中学校二年 山崎 桜

このコンクールは、児童生徒が標語の作成に取り組むことで、いじめをなくす強い気持ちや、人を思いやる心、いたわる心を培うことをねらいとして実施しています。

今年度の応募総数は、小学校は二百二十五作品、中学校は百五十作品でした。

応募いただいた児童生徒、ご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。



## あとがき

▼令和3年度もあと少しとなりました。今年度は、「新しい生活様式」として感染症対策を施しながら、様々な事業を進めてきました。参加された先生方をはじめ、皆様に感謝申し上げます。

▼先日、キャラホールで開催した養護教諭研修会では、「性の多様性」について、岩手県環境保健研究センターの佐藤卓先生の講演を拝聴しました。佐藤卓先生には、昨年度、この所報こずかたにも寄稿いただきましたが、改めて、LGBTQ+について、考えを深める機会となりました。

▼その中で、「制服」の話題がありました。女子生徒が、スカートとスラックスを選択することを可能としている学校の取組についてです。

▼同じころ、全国ニュースで、間もなく創立百周年を迎える伝統校、東京都文京区の桜蔭中学校高等学校（女子校）でも、スラックスの採用決めたことが報じられていました。社会の注目度が高まっていることを実感しました。

▼また、同記事の中では、学校が女子の制服を選択制とする理由として、「トランスジェンダーの生徒たちへの対応」の他にも、「防寒対策」「自転車通学者の安全の確保」などを挙げており、児童生徒の「安全・安心な学校生活」の視点からも有意義であることが示されていました。

盛岡市内でも、同様の理由から、女子の制服を選択制としている中学校もあります。

▼貧困家庭の子どもが、生理用品を満足に使用できない、いわゆる「生理の貧困」問題、通学路における登下校時の児童生徒の安全確保、IGAスクール構想の推進、学力向上、増え続ける不登校児童生徒への対応等、今年度も、各学校の先生方には、様々な教育課題の解決に取り組んでいただきました。

▼教育研究所としても、それらの取組に役立つ研究に、引き続き取り組んでまいります。

次年度も、教育研究所事業への御協力、よろしくお願いたします。